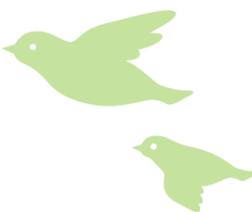


# みなさまのあたたかいご支援をおまちしています

ご寄付  
随時

個人や企業・団体からのご寄付のほかイベントの収益や遺贈によるご寄付も受けつけています。

共感寄付



個人による  
継続ご寄付

個人から、継続してサポートしていただく制度があります。お振り込みは、1口1,000円  
①毎月 ②隔月 ③年1回の3つからお選びいただけます。

クレジットカード、口座振替、郵便振替をご利用頂けます。

賛助会員

法人・企業のみなさまには、継続し支援していただく制度があります。年間1口10万円、何口でもけっこうです。  
5口50万円以上は特別賛助会員となります。



NHK厚生文化事業団のホームページ



共感寄付から手続きができます



NHK厚生文化

検索

<https://www.npwo.or.jp/>

くわしくはこちらへ▶ 03-3476-5957

受付時間 9:30~18:00 [月~金(休日等を除く)]

## メールマガジン ハーツ・レター

フォーラムのお知らせや福祉番組情報などを月2回程度お届けしています。



スマホからご登録

QRコードで登録ページにアクセスしてご登録ください



PCからご登録

ホームページにアクセスしてご登録ください  
<https://www.npwo.or.jp/info/16949>

©2023 NHK厚生文化事業団

お問い合わせ・お振込先

社会福祉法人  
**NHK** 厚生文化事業団  
NHK PUBLIC WELFARE ORGANIZATION

電話 03-3476-5955 FAX 03-3476-5956

振込先 みずほ銀行 内幸町営業部 (普)1321385

Instagramは  
こちらから!



社会福祉法人

**NHK** 厚生文化事業団

NHK PUBLIC WELFARE ORGANIZATION

# 2022

## 2022年度の活動



わたしのハートが誰かに届いて  
みんなのハートが社会に届く  
**NHK HEARTS**

# わたしのハートが誰かに届いて みんなのハートが社会に届く NHK HEARTS

NHK厚生文化事業団 2022年度の活動概要

NHK厚生文化事業団では、2022年度も新型コロナの感染拡大が断続的に続き、事業収入の確保が厳しい状況にあるなか、開催方法を工夫しながら個々の事業を実施しました。

長年続けてきた体の不自由な子どもたちのキャンプを今年度も中止にしましたが、全体としては概ね計画通りに事業を進めることができたと考えています。

NHKやNHKグループ各社をはじめ、さまざまな団体と協力しながら事業を展開し、有益な福祉情報の発信・提供を進めることで社会福祉の増進に貢献しました。

大阪に置いていた近畿支局は、計画通り2022年度末で閉所しました。支局がなくなっても、東京を起点に全国に向けてサービスを展開するように心がけてまいります。

## 障害者福祉事業

NHKと連携した「NHKハートフォーラム」を、関心の高い発達障害をはじめ、NHKのキャンペーンにあわせて「子どもの自殺防止」「虐待からの脱出」など幅広いテーマで開催しました。

教育研修、子どもの発達相談会やハートカフェなど、対面での事業もいくつか実施でき、フォーラムもオンラインだけでなく、会場参加型も再開しています。

障害の当事者、支援する人たちの体験作文を募集する「NHK障害福祉賞」は、NHKの番組と連動しながら例年通り開催しました。

パラリンピアンが小学校を訪ねて、子どもたちに障害者スポーツを体験してもらう「交流教室 パラリンピアンがやってきた!」は、コロナの影響で一部実施時期を変更しましたが、首都圏のほか、広島や香川でも開催し、計画通り6回開催しました。

## 高齢者福祉事業

6回目となった「認知症とともに生きるまち大賞」では、NHKと連携して、これまでの受賞団体などが参加したフォーラム「認知症バリアフリーサミット」を開催し、その模様はNHKスペシャルで放送されました。

このほか、がんや心臓病をテーマにしたフォーラムも開催しました。

## 福祉情報提供事業

基幹事業のひとつ「福祉ビデオライブラリー」では、NHKの福祉番組や事業団制作の福祉ビデオ教材などの貸し出しを行い、さまざまな需要に応えました。

福祉DVD教材はJKAから補助金を得て制作しており、「LGBTQ+」をテーマに取り上げ新作しました。

## チャリティー事業

2021年度は、NHKホールの改修などでN響第9チャリティーコンサートを実施できず、またNHK福祉大相撲を新型コロナの影響により直前で中止としましたが、2022年度はいずれの事業も開催することができました。

# 障害のある人とともに



## ● NHKハートフォーラム

発達障害をはじめ、NHKのキャンペーン・プロジェクト等との連動や、当事者研究から探る共生社会などのテーマについて取り組み、NHKとの共催によるNHKハートフォーラムとして7回開催しました。

月日	曜日	場所	タイトル	参加者
6月 11日	土	京都・京都市	「SDGs理念“誰ひとり取り残さない”社会の実現 ～困りをかかえる発達障害の人たちから考える～」	313人
11月 3日	木祝	大阪・大阪市	「発達障害の子どもへの理解と支援 ～小学校英語の学び方～」	433人 (会場:177人、インスタ:266人)
6月 4日	土	東京・渋谷区	「虐待を乗り越えて～18歳まで自宅で軟禁されていた私から～」	55人
7月 30日	土	東京・渋谷区	「子どもの発達障害 ～今、大切なことと、将来、役に立つこと～」	(オンライン)1,757人
8月 17日	水	東京・渋谷区	「#8月31日の夜が来る前に。」★	(オンライン)147人
(2023年)				
2月 4日	土	愛知・名古屋	「実は身近な発達障害 今こそ知りたい災害のリアル ～わたしたちができること～」	130人
2月 10日	金	東京・渋谷区	「柳田邦男・熊谷晋一郎 “人生の拓(ひら)き方”を考える ～障害当事者が内なる思いを綴る手記から～」	(オンライン)385人

合計 3,220人

★ NHKの放送 8月17日、31日 Eテレ 全国 「ハートネットTV」

## ● 教員のための「インクルーシブ教育」研修

Eテレ「u&i」を使った特別支援教育講座

月日	曜日	場所	参加者
10月 12日	水	青森県六ヶ所村立南小学校	同校教職員等15人
(2023年)2月 27日	月	三重県松阪市教育委員会「子ども支援研究センター」	市内教職員30人 (オンライン:9人)

## ● ハートカフェ(大阪)

月日	曜日	場所	タイトル	参加者
4月 9日	土	大阪・ドーンセンター	「子どもの頃受けた“心の傷”からの回復 ～発達性トラウマ障害と複雑性PTSDの正しい理解と治療法～」	43人

● こどもの発達相談会（大阪）

ことばや発達に遅れのある子どもとその保護者を対象にした相談会を5回実施しました。コロナ対策を施して対面で行い、自閉スペクトラム症(ASD)をはじめ、知的や言語の発達の遅れや学習障害(LD)、注意欠如・多動症(ADHD)などについて、個別の相談に丁寧に応じ好評でした(相談件数は延べ70件)。

● 障害者スポーツイベント

交流教室 パラリンピアンがやってきた!

パラリンピック選手が小学校を訪問し、子どもたちとパラスポーツを楽しむ交流するイベントを広島、香川を含め計6回実施しました。東京2020パラリンピックのメダリストの参加回もあり、どこの学校でも大変喜ばれました。



車いすバスケットボール▶

月日	曜日	場所	内容	参加者
5月 11日	水	東京都板橋区立加賀小学校	「車いすバスケットボール」	420人
6月 29日	水	横浜市あざみ野第二小学校	「車いすバスケットボール」	581人
9月 13日	火	西東京市立けやき小学校	「陸上」	683人
12月 12日	月	広島市立安西小学校	「車いすバスケットボール」	448人
(2023年)				
1月 23日	月	高松市立木太小学校(香川)	「ブラインドサッカー」	437人
2月 28日	火	東京都北区立第四岩淵小学校	「車いすラグビー」	247人

合計 2,816人

第55回スポーツの集い

知的障害のある人のスポーツ競技会。重度の障害者が参加できる全国でも数少ないスポーツ大会で、今回はコロナ対策として、会場での参加のほかにリモート参加も可能にして実施しました。

月日	曜日	場所	参加者
9月 7日	水	東京体育館	(会場〈7施設〉:108人、オンライン〈22施設〉:469人)577人

パラスポーツ大会に、事業団賞と参加者への記念品を贈呈

渋谷区主催のパラスポーツ大会に、事業団賞と参加記念品を提供しました。

7月24日(日)	渋谷オープンパラバドミントン2022	(渋谷区スポーツセンター)
9月 3日(土)、4日(日)	渋谷区長杯 第5回車いすラグビー大会	(渋谷区スポーツセンター)
(2023年)2月 5日(日)	第2回 渋谷区長杯パラ卓球大会	(渋谷区スポーツセンター)
3月 5日(日)	第3回ポッチャ渋谷カップ	(渋谷区スポーツセンター)

● 肢体不自由児・者の療育活動

近畿地区の「フレンドシップ・キャンプ」は、新型コロナ感染拡大を考慮して日帰りのバスツアー(神戸どうぶつ王国)に変更し、感染対策を講じて実施しました。

予定していた「高木記念山中キャンプ」(山梨県山中湖村)、「雪と遊ぼう 親と子の療育キャンプ」(新潟県南魚沼市)は、新型コロナ感染拡大の影響で中止になりました。

● 障害者や福祉への理解を促す事業

福祉施設の手づくり製品や菓子の販売会

NHK共済会と2011年度より共同で実施している「福祉施設で作られたお菓子などの販売会」を、東京のNHK放送センターで8回開催しました。

また、東日本大震災被災地支援として福島・宮城・岩手各県の事業所が作った菓子や名産品の販売会を3月27日に東京の放送センターで行いました。

福祉の仕事に就く若い人たちにに向けたフォーラム

名古屋市で、愛知県社会福祉協議会、NHK名古屋放送局、中日新聞社との共催で、福祉を担う若手や中堅職員が本音で語り合える場を設け、福祉現場の現状と魅力を伝えるフォーラムを開催しました。

月日	曜日	場所	タイトル	参加者
(2023年)1月28日	土	名古屋市	「福祉の星フォーラム」	(会場:21人、オンライン:76人)97人

● 第57回NHK障害福祉賞

障害のある人の体験記録や、福祉関係者、家族などの実践記録を広く社会に伝える「障害福祉賞」。昨年に次ぐ518編もの応募があり、選考の結果、次の実践記録が入選しました。

第1部門：障害のある本人の部門 / 第2部門：障害のある人とともに歩んでいる人の部門

応募数：518編(第1部門：402編、第2部門：116編)

【入選作】

最優秀	「ようこそ!私の世界へ」	毛塚 光沙季 (栃木県)
優秀 (第1部門)	「私にできること」	中条 歩 (大阪府)
(第2部門)	「元ヤン回顧録」	高橋 唯 (茨城県)
(第2部門)	「全盲の娘の友達が、母の私に教えてくれたこと」	向井 由美 (大阪府)
矢野賞	「自閉症の長男との伴走—成長と希望の軌跡」	西本 功 (愛知県)
佳作	3編	

「第57回障害福祉賞入選作品集」を作成して広く頒布したほか、朗読による音声版(デジタル録音)、点字版の入選集を作成し、全国の点字図書館や視覚障害の応募者などに提供しました。贈呈式は12月8日にNHK放送センターで受賞者を招いて実施(オンラインの参加も含む)。また入選作品や受賞者の思いは、「ラジオ深夜便」(ラジオ第1)、「ハートネットTV」(Eテレ)、「視覚障害ナビ・ラジオ」(ラジオ第2)などで紹介されました。

NHKの放送 (2023年)1月10日 R1 ラジオ深夜便 / 2月28日、3月1日 Eテレ 全国 「ハートネットTV」  
3月12日 R2 視覚障害ナビ・ラジオ

## ● NHKハート展

## 第27回ハート展

27回目の「NHKハート展」には、障害のある人が綴った詩3,009編が寄せられ、その中から選考の結果50編が入選となりました。入選作品は、2023年6月19日から1か月ほどNHK プラスクロス SHIBUYAで展示され、年度内に札幌、大阪、神戸などで巡回展を実施予定です。

## 第26回ハート展（巡回展）

2021年度に募集し、入選が決定した50編の詩は、東京・渋谷のBunkamuraギャラリーなど全国9か所を巡回しました。また、モニター1台に入選作品をループで映し出す「どこでもハート展」を3会場で実施しました。

## 全国巡回展 会場・入場者数（9会場）

	会 期	会 場	入場者数
東京・渋谷区	2022年 3月 2日(水)～3月13日(日)	Bunkamuraギャラリー	1,289人
佐賀市	6月13日(月)～6月26日(日)	NHK佐賀放送局	236人
秋田市	8月 6日(土)～8月19日(金)	NHK秋田放送局	120人
大阪市	9月 6日(火)～9月19日(月)	NHK大阪放送局1階アトリウム	706人
神戸市	10月21日(金)～10月31日(月)	NHK神戸放送局トアステーション	412人
京都市	11月29日(火)～12月9日(金)	NHK京都放送局	1,208人
札幌市	12月17日(土)～12月25日(日)	NHK札幌放送局	633人
徳島市	2023年 2月 3日(金)～2月12日(日)	アミコ	1,144人
青森・八戸市	3月 1日(水)～3月12日(日)	八戸市美術館ホワイトキューブ	1,211人

## どこでもハート展 会場・入場者数（3会場）

	会 期	会 場	入場者数
東京・墨田区	2023年 2月 4日(土)	国技館 ※福祉大相撲開催に合わせて	500人
東京・新宿区	2月11日(土)	新宿住友ビル三角広場 ※手話フェス開催に合わせて	600人
高知市	2月16日(木)～2月19日(日)	イオンモール高知 ※昆虫展開催に合わせて	1,993人

入場者数 合計 10,052人（1会場平均 838人）

## 充実した高齢社会をめざして



## ● 第6回 認知症とともに生きるまち大賞

「認知症700万人時代」を目前に控え、認知症の人たちとともに安心して暮らしていくための多様な取り組みの喚起をねらい、全国から活動事例を募集し、それを専門家、有識者によって選考し表彰しました（応募20件の中から本賞・特別賞併せて4件を表彰）。表彰式は、受賞団体を紹介するハートネットTVの収録に合わせ、NHKスタジオで実施しました（受賞団体はオンラインで参加）。

## 【受賞団体】

本賞	北見 翼をくださいプロジェクト	（北海道・北見市）
	藤里町社会福祉協議会「プラチナバンク事業」	（秋田・藤里町）
	認知症高齢者に「おんぶにだっこ」される地域づくり	（愛知・豊田市）
特別賞	Be supporters !	（富山市、神戸市、川崎市、山口市）

NHKの放送 2023年1月24、25日 Eテレ 全国 「ハートネットTV」

## ● NHKハートフォーラム

「認知症バリアフリーサミット」では、これまでの「認知症とともに生きるまち大賞」受賞団体が大集合し、認知症バリアフリーのまちづくりについて語り合いました。

月日	曜日	場所	タイトル	参加者
4月29日	金祝	大阪・大阪市	「認知症の知識と介護の心得」	197人
6月19日	日	東京・江東区	「あなたに知ってほしい がんのこと」	（オンライン）287人
（2023年）2月14日	火	東京・渋谷区	「認知症バリアフリーサミット」★	（オンライン）585人

★ NHKの放送 2023年4月1日 総合 全国 NHKスペシャル「認知症バリアフリーサミット ～本人の声がまちを変える～」

## ● 新・介護百人一首2022

2006年から続けてきた、介護短歌の応募作から百首を選ぶ「NHK介護百人一首」をリニューアルして、2021年度から「新・介護百人一首」と改称してNHKサービスセンターと共催で実施しています。

2年目を迎え、若い世代を中心に応募が着実に増え、全国6,427人から13,036首の応募が寄せられました。

● フォーラム (NHKエンタープライズとの共同事業)

NHKエンタープライズと共同で認知症やがん、心臓のフォーラムを6回実施。当事者やその家族、医療、介護従事者など2,685人が参加・視聴しました。

心臓フォーラム2022 ～心不全から心臓を守ろう～

心臓専門医、看護師、そして心臓疾患を経験したゲストとともに、「心不全から心臓を守る」情報をわかりやすく伝えました。

月日	曜日	場所	参加者
6月5日	日	東京・千代田区	(会場:45人、オンライン:493人)538人 / アーカイブ配信視聴:224人

NHKの放送 7月2日 Eテレ 全国 TVシンポジウム「心臓病を“見える化”する～リスク発見・予防の新常識～」

フォーラム「がんと生きる ～こころとからだ 私らしく～」

高齢化の進展によって2人に1人ががんを抱える時代。医療の進歩で5年生存率が向上する一方で、治療が長期化し、副作用や後遺症が暮らしに影響を及ぼしています。そうした患者の悩みに向き合うサポートケアと、がんになってもそれまでの暮らしが続けられるための医療をはじめ、社会的支援の重要性について医療従事者、支援者、当事者の方が語り合いました。

月日	曜日	場所	参加者
7月24日	日	石川・金沢市★1	(会場:145人、オンライン:225人)370人
11月12日	土	千葉・松戸市	289人
(2023年)2月5日	日	東京・江東区★2	(オンライン)693人

合計 1,352人

★1 NHKの放送 9月30日 総合 石川県域

★2 NHKの放送 (2023年)5月27日 Eテレ 全国 TVシンポジウム「がんと共生 居場所を求めて」

長寿の未来フォーラム

「記憶の衰え」「フレイル予防」「関係人口」「孤立」など、老いとう向き合い生きていくのかを研究者や医療者、認知症当事者の方々とともに、その解決策を探りました。

月日	曜日	場所	タイトル	参加者
9月25日	日	愛知・名古屋市	「記憶の見方が変わる ～高齢者心理と認知症治療からひも解く～」	(会場:60人、オンライン:320人)380人
(2023年)3月5日	日	島根・松江	「フレイルと関係人口」	(会場:68人、オンライン:123人)191人

合計 571人



# 多様な福祉情報を提供

● 福祉ライブラリー活動

「福祉ライブラリー」はNHKの福祉番組をDVDに複製して貸し出すもので、事業団創立以来の基幹事業の一つです。ラインナップも多様で教育や福祉の現場で活用されています。

コロナ禍で授業やイベントがオンラインになる中、学校やイベント主催者から様々な需要が寄せられました。

福祉ビデオライブラリー

2022年度に新しくライブラリー化した番組は26。「ハートネットTV」などテレビの福祉番組や、「ドラマ 命のバトン～赤ちゃん縁組がつなぐ絆～」 「NHKスペシャル」など視聴者から反響の大きかった番組、福祉の学習に役立つ番組をDVDに複製しました。また、事業団が制作した福祉DVD教材もライブラリーに加えしました。

年間の貸出利用は2,342本。おもな利用者は、福祉関係の大学・専門学校や、福祉の現場で働く人、障害児の親や障害者本人、介護に携わっている家族、ボランティア団体などです。

利用が特に多かったソフトは、事業団制作の福祉DVD「優しい認知症ケア ユマニチュード」(163本)。つづいて「ひきこもりからの回復」(52本)、「うつ病」(45本)、「発達障害の子どもたち」(37本)、「新しい絆の作り方 特別養子縁組・里親入門」(36本)でした。

2022年度 複製番組数	ライブラリー保有番組数	年間利用数
26番組	657番組	2,342本(枚)

これまでの利用数累計:21万487本

聴覚障害者向け字幕ビデオライブラリー

NHKの字幕放送の拡充にあわせ、聴覚障害者向けサービスとして2003年度から行っています。2022年度は、目撃! にっぽん「日本一静かで笑顔あふれるカフェ」や、ハートネットTV「困った! どうする? ろう・難聴者のウィズコロナ」など5番組を字幕化しました。このライブラリーには通算129番組が収められ、全国57の聴覚障害者関係施設と当事業団で貸し出しを行っています。

視覚障害者のための音声ライブラリー

文芸作品や古典の名作を朗読したNHKの番組をデジタル録音して、全国45か所の委託施設で貸し出しを行っています。2022年度はNHKの『ラジオ文芸館』から「芋粥」(嵐山光三郎)、『新日曜名作座』から「山本周五郎・戦国短編集」、『FMシアター』から、令和3年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞した「はるかぜ、氷をとく」などを複製しました。利用が多かった番組は、『ラジオ文芸館』の「暮れ花火」、『新日曜名作座』の「半七捕物帳2」など。

2022年度 複製作品数	年間利用本数
4番組 8作品	3,074本(枚)

これまでの利用数累計:200万1,653本

● 福祉DVD教材「LGBTQ+ ～多様な性を考えよう～」の制作

社会の課題として取り上げられ、考えられることが多くなってきているLGBTQ+。言葉の広がり一方で、その意味や当事者達の悩みや生きづらさがなかなか理解されない一面もあります。LGBTQ+について知りたい学びたいと考えた人たちへ正しい理解に繋がる知識や情報を当事者や専門家がわかりやすく解説しています。

福祉DVD教材（テキストつき）は福祉ビデオライブラリーからの貸し出し用に2枚組で制作し、全国の行政、学校、当事者団体などには、同内容の映像データをオンラインで送付。

なお、本事業はJK Aの補助金を得て実施しました。

第1巻 「私って“変”？ あの人は“ふつう”？ が気になるあなたへ」

第2巻 「みんなで社会をつくってゆきたいあなたへ」

監修：鈴木茂義（プライドハウス東京 理事、公立小学校非常勤講師）



● 「認知症」などの冊子配布とホームページでの公開

冊子「もの忘れが気になるあなたへ」、冊子「家族が認知症と診断されたあなたへ～おおすすめ介護術」をフォーラムの参加者や希望者に配布しました。

2022年度で上記2資料の配布は終了し、NHK「きょうの健康」より抜刷したパンフレット「理解が変わる!? 認知症の世界」を準備し、配付資料を刷新しています。

安定した福祉事業をすすめるために



● チャリティー事業とその成果

年間を通じて数々のチャリティーイベントを実施しました。

(1) NHK番組公開チャリティー

催し物名	期 日	会 場	売上高等（単位：千円）
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート 〈東京公演〉（18回）	7月 8日 ～ 10日 11月 4日 ～ 7日	NHKホール	(寄付額) 8,804 ※2023年度入金
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート 〈地方公演〉（20回）	9月25日 ～ 2023年2月25日	長野県松本市ほか 全国5か所	
いないいないばあっ！ ワンワンわんだーらんど（16回）	4月 3日 ～ 2023年3月 5日	千葉県松戸市ほか 全国6か所	(寄付額) 3,719 ※2023年度入金

(2) 事業団企画チャリティー

催し物名	期 日	会 場	売上高等（単位：千円）
創立55周年記念日本陶芸倶楽部会員 チャリティー作品発表展	5月17日～22日	柿傳ギャラリー （東京・新宿）	(寄付額) 2,196
N響「第9」 チャリティーコンサート	12月22日	NHKホール	(売上高) 19,274
第55回NHK福祉大相撲★	2023年2月4日	国技館	(売上高) 18,394

「★」印は物品などの贈呈をした催し



▲ おかあさんといっしょファミリーコンサート  
©NHK



▲ いないないばあっ！ワンワンわんだーらんど  
©NHK / NED

# これからの地域福祉のために



## ● 第34回 地域福祉を支援する「わかば基金」

あすの福祉の芽を育てる「わかば基金」は、福祉の分野で地道に活動をしているグループを支援するために設けられたもので、34回目の今回は、「支援金部門」には179グループ、全国の激甚災害の被災地から申請を募った「災害復興支援部門」には10のグループ、「リサイクルパソコン部門」には76グループから申請がありました。

選考委員会を経て、全国20グループに総額1,198万円の支援金、13グループに30台のパソコンを贈りました。また、支援総額は、パソコン費用を含め1,392万円。なお、初回からの贈呈件数は903に上ります。

### 【支援金部門 支援先】17グループ / 支援金総額：1,040万円

北海道当別町	障がい児の命を守り愛する会	浴室工事など	100万円
青森県十和田市	NPO法人農楽郷ここ・カラダ	作業所改修費	90万円
山形県米沢市	NPO法人そら	除雪機など	100万円
埼玉県川越市	NPO法人くるみの木	ガスオープン、エアコンなど	49万円
埼玉県川越市	NPO法人山正（リンクス川越事業所）	ガチャマシン、カプセル	17万円
千葉県野田市	NPO法人子育てネットワークゆっくっく	収納庫	18万円
千葉県木更津市	NPO法人ライフサポート波岡	バス（車両）	94万円
東京都町田市	町田市点訳赤十字奉仕団	点字プリンター	50万円
静岡県浜松市	NPO法人地域創生支援事業団	足踏みシーラー、窯保守	33万円
岐阜県美濃加茂市	地域たすけあいの会	倉庫	72万円
石川県金沢市	NPO法人びあサポート	マルチメディアデジター制作ソフト	17万円
兵庫県西宮市	認定NPO法人兵庫介助犬協会（千葉介助犬協会）	車両	100万円
広島県広島市	NPO法人風の家	相談室改装	36万円
鳥取県鳥取市	地域コミュニティらるらりら	エアコン、学習机、洗濯機など	100万円
愛媛県四国中央市	NPO法人カノン	楽器（太鼓類）	62万円
愛媛県八幡浜市	NPO法人浜の会 就労継続支援B型事業所浜っ子作業所	スライド丸鋸、プロア、草刈り機など	40万円
大分県竹田市	NPO法人Teto Company	遮音シートなど	62万円

### 【災害復興支援部門 支援先】3グループ / 支援金総額：158万円

福島県福島市	NPO法人シャローム	映像制作機材など	18万円
岡山県総社市	NPO法人こもれびの里	粉碎機、相談室整備など	91万円
愛媛県宇和島市	NPO法人宇和島NPOセンター	軽トラックリースなど	49万円

### 【リサイクルパソコン部門 支援先】13グループ / リサイクルパソコン贈呈：30台

埼玉県狭山市	NPO法人ぶどうの会	3台
神奈川県横浜市	認定NPO法人よこはまチャイルドライン	3台
愛知県豊橋市	NPO法人てのひら	3台
京都府京都市	アクセシブルミーティング研究会	1台
京都府京都市	東山区「不登校・ひきこもりを考える親の会」「シオンの家」	3台
大阪府大阪市	NPO法人さをりひろば SAORI hands	1台
奈良県生駒市	音訳グループ生駒やまびこ	1台
和歌山県田辺市	図書館ボランティアの会「ともしび」	2台
兵庫県新温泉町	NPO法人Comfort you	3台
兵庫県姫路市	点訳グループふれあい	3台
兵庫県西宮市	西宮ベンの会	1台
愛媛県四国中央市	点字やすらぎ会	3台
福岡県福岡市	福岡綸の会	3台

## ● NHK 歳末たすけあい・NHK 海外たすけあい

「NHK 歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて、国内の福祉施設やコロナ禍で不安を抱える方など、支援を必要とする方々のために、「NHK 海外たすけあい」は、日本赤十字社を通じて、世界各地で相次ぐ紛争や自然災害、食料危機、感染症の蔓延などに苦しむ人々のために役立てられます。

### 受付件数・金額（全国集計）

2022年度	NHK 歳末たすけあい		NHK 海外たすけあい	
	3万4,527件	5億3,726万2609円	8万3,816件	7億8,708万8,711円

## ● NHK福祉大相撲による福祉車両の寄贈

2023年2月4日に開催した「第55回NHK福祉大相撲」（入場者3,450人）の純益により福祉車両「福祉相撲号」5台を購入し、これに協力団体からの寄贈1台と合わせて合計6台を障害のある人たちの療育活動や、お年寄りのデイケアなどの活動を行っている施設・団体に寄贈しました。

（「NHK福祉大相撲」の様子は、2月23日 総合テレビで放送）

### 【贈呈先】

社会福祉法人	宏仁会	（青森県）
社会福祉法人	群馬県社会福祉事業団 就労支援事業所めーぶる	（群馬県）
社会福祉法人	長寿会	（石川県）
社会福祉法人	共生福社会	（京都府）
社会福祉法人	御荘福祉施設協会	（愛媛県）
社会福祉法人	やまなみ会	（熊本県）

## 2022年度一般社会福祉事業拠点区分事業活動計算書

自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月 31日  
(単位:千円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
一般寄付金	64,562	障害者福祉事業	23,484
主催チャリティー寄付金	6,855	高齢者福祉事業	6,867
後援・協賛チャリティー寄付金	23,018	福祉情報提供事業	28,209
賛助・維持会員会費等	18,924	福祉支援事業 (NHK厚生文化事業団号・福祉相撲号)	15,871
共同募金配分金	6,000	同 (その他)	749
「第9」演奏会	19,275	広報費	5,822
福祉大相撲	18,394	「第9」演奏会	19,112
助成金等収入	154,392	福祉大相撲	8,434
雑収入	2,499	人件費	173,070
障害者福祉事業積立金取崩	30,674	事務費	43,653
高齢者福祉事業積立金取崩	14,056	減価償却費	4,380
前期繰越活動収支差額	91,276	引当金繰入	5,735
		拠点区分間繰入	14,378
		障害者福祉事業積立金繰入	30,000
		高齢者福祉事業積立金繰入	20,000
		次期繰越活動収支差額	50,161
合 計	464,448	合 計	449,925

\*この他、わかば基金事業拠点区分、災害救護事業拠点区分があります。  
\*詳細についてお知りになりたい方は、当事業団までお問い合わせください。

## 賛助会員の力強いご協力

賛助会員は一般法人に広く協力を求め、105団体から1,650万円の支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

### [特別賛助会員]

三栄製菓 日立製作所 NHKエンタープライズ	第一生命保険 富士通	ノービスハイエストサービス みずほ銀行
------------------------------	---------------	------------------------

### [賛助会員]

愛知県農業協同組合中央会 アフラック 池上通信機 港北メディアサービス 遠藤波津子美容室 加藤電気工業所 木下サーカス グリーン・アート コメリ シーズコーポレーション 島精機製作所 スタービーイング 住江織物 ゼンリン 大和証券 ツムラ 東芝インフラシステムズ 西川 日本音楽事業者協会 日本交通 ネイチャー 花岡無線電機 PL東京健康管理センター 丸一鋼管 三菱UFJ信託銀行 モリタホールディングス 吉本興業 NHKアート NHKエデュケーショナル NHKサービスセンター NHKビジネスクリエイト 共栄サービス 日本放送協会共済会	葵設備工事 アーチェリープロダクション 石川近鉄タクシー エクサート松崎 岡谷鋼機 川崎重工業 近物レックス KDDI 近藤産興 ジーズ・コーポレーション 小学館 スマートコンセプト 全国大陶器市振興組合 総合システム管理 大和リース 帝産キャブ名古屋 東新紙業 日産自動車販売 日本音楽著作権協会 日本たばこ産業 野村証券 HSレストラン 日立国際電気 丸徳産業 明電舎 森平舞台機構 リンレイ NHKインターナショナル NHKエンジニアリングシステム NHK出版 NHKプロモーション 日本国際放送 放送衛星システム	アットホーム アーティストハウスピラミッド 岩谷産業 荏原冷熱システム 勝亦電機製作所 川嶋印刷 近鉄タクシー 国際自動車 サンセイ ジェイアール東海高島屋 白川プロ 住友電気工業 全国陶器祭り振興会 大和自動車交通 タカラベルモント 帝都自動車交通 名古屋三越 日本医師会 日本ガイシ 日本電気 バーニングプロダクション 阪急電鉄 福建社 三井住友信託銀行 メディア21 ヨコシネディーアイエー WOWOW NHK営業サービス NHKグローバルメディアサービス NHKテクノロジーズ NHK放送研修センター NHK学園
---	--	---

(五十音順 2023.3.31現在)